

西原の さんぽ道

その4

【呉屋モ一編】

今月ご紹介するのは、呉屋モ一周辺のさんぽ道コースです。町運動公園のパークゴルフ場駐車場からスタートし、墓地地帯を通りぬけ、遊歩道を歩いていくと、見晴らしのよい休けい所が見えてきます。その間、

ソウシジュ・ギンネム林やクロヨナ・ゲッキツ・リュウキュウマツ・ハゼノキ・イヌマキ・ホルトノキといった沖縄在来の植物がみられます。これらの木々には名札がついているので、名前をおぼえることもできますよ。また、さんぽ中には、昆虫や鳥などの動物に出会うことができます。先日は、大

きく美しいオオゴマダラや日に照ったコンクリートの上をつらそうに歩くアフリカマイマイに会いましたよ。休けい所の横にある字津花波の殿とよでは、木もれ日のふりそそぐなか、やさしいメジロの声に心いやされました。呉屋の集落にむかつて階段をおりていくと、そこは集落発祥の地

とされる呉屋散布地さんぶちという遺跡があり、字呉屋の殿やナカヌタキといった聖なる地となっています。この場所は、旧暦6月のウファチ綱（綱ひき）の綱をつくる場所にもなっているんですよ。その近くでは、石獅子いしじしが呉屋の集落をみまもっています。

呉屋モ一の遊歩道は、ちょうど字呉屋と字津花波の境界になっており、その周辺には両字に関する遺跡や聖地が点在しています。また、沖縄戦当時は機関銃隊の陣地となり、激しい戦闘が行われた地でもありました。

現在の呉屋モ一は、遊歩道が整備され（集落地域整備事業）、天気がよい日には、気持ちよくさんぽを楽しむことができます。スタート地点は先ほどのパークゴルフ場駐車場からくたるのもよし、呉屋の集落からのぼっていくのもよし、さらに体力に自信のある人は運動公園内にある遊歩道（テニスコート周辺）まで足をのばしてみるのがよし、のおすすめコースです。

*季節は夏本番、くれぐれも熱中症には気を付けましょう。

